

## ・ 意思表示システム

会話する際に自らの感情、行動に該当する絵を押すことで、その意思を伝える支援を行うことができます。

## ・ 動作環境

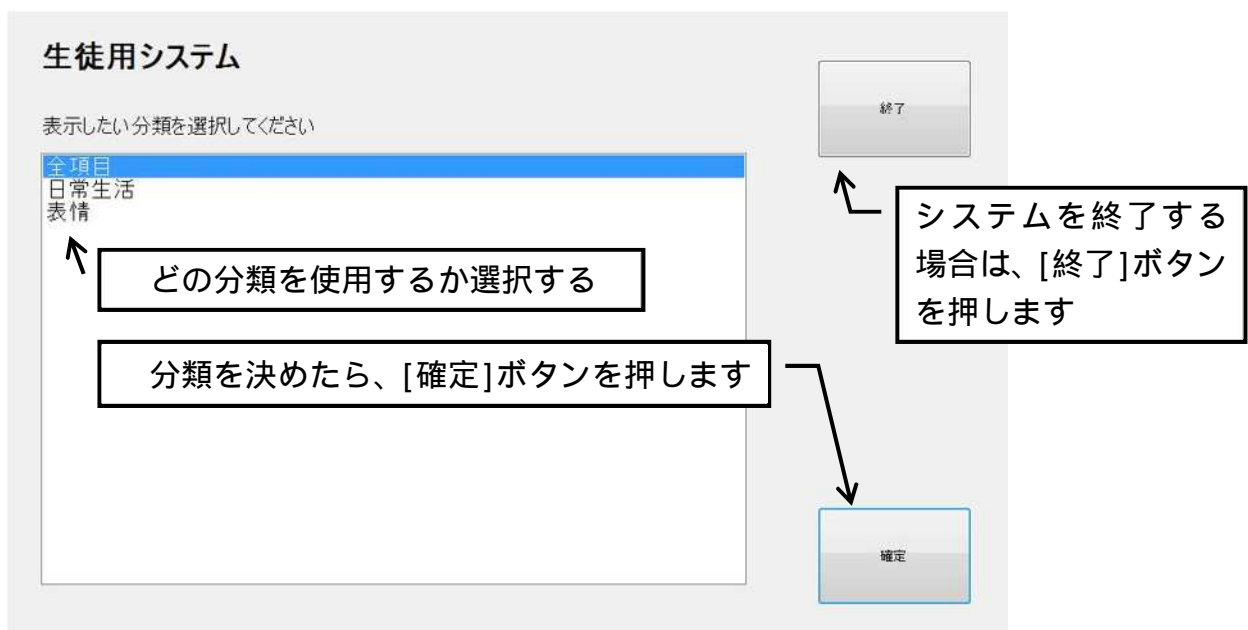
動作OS： WindowsXP、Windows Vista、Windows7 (32bit)

動作には .Net Framework3.5 以上が必要です。意思表示.exe が起動しない場合は、マイクロソフトのサイトから入手して、インストールしてください。

<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=21>

## ・ 意思表示システムの使い方

IsiHyouji.zip ファイルをダウンロード後、適切なフォルダに保存します。解凍すると「意思表示システム」フォルダが作成されます。意思表示.exe をクリックすると起動されます。



注意) System フォルダや、その中身を変更すると実行ができない場合があります。

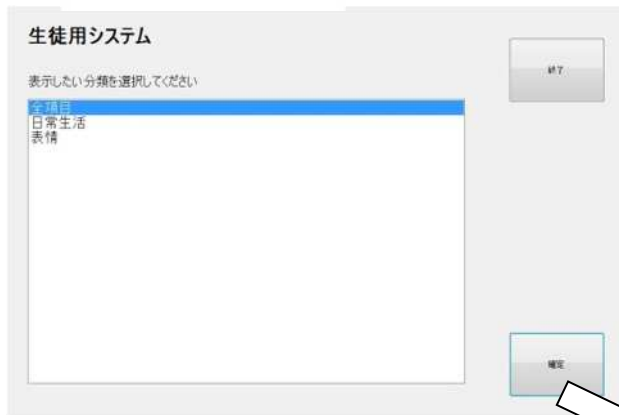
System フォルダの「分類」フォルダに分類名のフォルダが作成されています。

絵や音声を追加する場合は、絵と音声を分類フォルダに登録すればトップ画面に表示されます。

また、新しい分類名のフォルダも追加することもできます。

# ・ 意思表示システムの画面の流れ

## トップ画面



## 項目選択画面



CTRL+C キーで戻る



生徒はここを繰り返す



- ・項目選択画面で分類（日常生活）を選んで確定ボタンを押す

生徒用システム

日常生活

- いいえ
- たべる
- のむ
- はい
- ほしいです
- やめてください
- わかりません
- トイレ

戻る

↑

確定

トップ画面に戻るには[戻る]ボタンを押します

チェックしたら、[確定]ボタンを押します

表示したい項目のチェックボックスをチェックする  
2～8個まで表示する項目数を選びます

次の画面から、生徒が操作をする

- ・意思を伝える絵を押します

せんせいをよぶ

たべる

のむ

トイレ

表示された項目の画像を押します。(次のページの画面へ)

[せんせいをよぶ]ボタンを押すと、先生を呼ぶ音声流れます。

- ・ 押した画像が大きく表示され、それに伴う音声がかかります

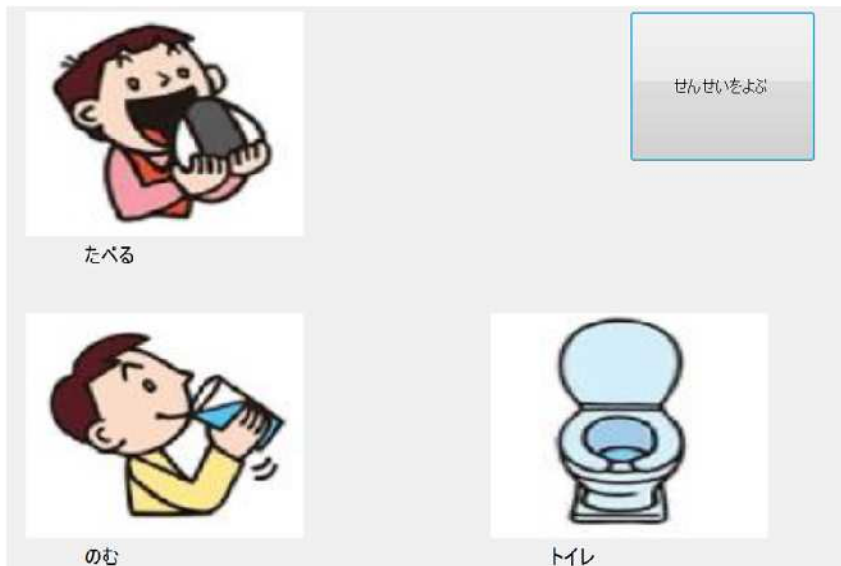


音声は、画像部分を押すと何回でも流れる。

前の画面に戻る場合、[もどる]ボタンを押します。

[せんせいをよぶ]ボタンを押すと、先生を呼ぶ音声が流れます。

- ・ 意思表示システムの終了



[CTRL]と[C]ボタンを同時に押すとトップ画面に戻ります。

システムの終了は、そこから[終了]ボタンを押します。